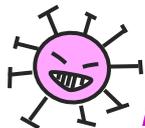


感染症に気をつけよう!!

2023年10月号

横浜市衛生研究所
感染症情報センター 10月3日発行



横浜市内の感染症流行状況



感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
腸管出血性 大腸菌感染症**	発生	横ばい	患者数が多い状態です。感染経路等が不明の報告もみられます。【19.9号】【ちらし】
新型コロナウイルス 感染症*	流行	?	患者数の報告方法は <u>定点報告</u> に変わりました。幅広い年齢層で報告されています。【23.9号】
インフルエンザ**	流行	?	例年の同じ時期に比べて、多く発生しています。学級閉鎖も行われています。【臨時情報】
梅毒**	発生	横ばい	20~50代を中心として、報告数の多い状況が続いています。【政府広報 動画】【無料・匿名検査】

* 国立感染症研究所 ** 厚生労働省

今、気をつけたい感染症

冬の感染症

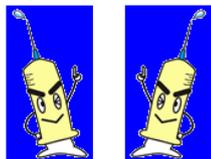
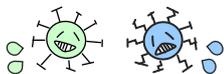
- 気温が低く乾燥している冬は、風邪、インフルエンザやノロウイルスなど、**感染症が流行しやすい**季節です。



- 感染症の種類は違っても、**基本的な予防対策は同じ**です。
- 感染(飛沫感染・接触感染)の経路を断つために、**咳エチケット****や**こまめな手洗い****をしっかりと行いましょう。
- 十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけて、**免疫力を高めておく**ことも大切です。



- 特に今シーズンは、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の**同時流行も心配**されています。



- インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは、**同時に接種することも可能**です。ワクチン接種について、かかりつけ医に相談しましょう。
- 横浜市では、令和5年10月1日~12月31日に**高齢者インフルエンザ予防接種**を実施します。

